

熊の前発見！ウォーク



【熊の前学区】

■世帯数：3,747 世帯

■人 口：10,916 人

■面 積：1.433 km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1 活動・取り組みの内容

- ・ 亀が洞 1 丁目や西神の倉を中心に、グループでまちを探検するウォークラリーを実施。参加者数約 130 人。
- ・ 関所でクイズに答えるとスタンプがもらえる方式で、約 4km のコースを設定。速さを競うのではなく、まちについて“新しい何か”“へえ〜”を発見することを重視している。

【住民への PR 方法】

チラシの回覧のほか、老人会や地域スポーツ、子ども会等の会合で PR、広報紙「熊の前学区だより」に掲載。

【アピールポイント】

学区内の施設や地域の発見を共有することで、地域に愛着が持てるようになる。また、家族で参加することで世代間交流が図れる。活動を通じて学区を見直そうというきっかけができた。今後も継続することで、学区内、区内、市内へと拡大する可能性がある。

2 きっかけ、背景

地域の伝統や文化を知り、学区の広がりを自分の目で確かめることで、地域に愛着を持ってもらうきっかけにしたい。

また、チーム参加で住民の交流を深め、家族連れによる世代間のふれあいから、心の通う街づくりを進める。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、民生委員児童委員、保健委員、消防団員、PTA、子ども会、老人クラブ、スポーツ推進委員、緑化部、広報計約50人

(2) 他団体との協力

地域の企業等

(3) 運営協力

当初は有志だったが、学区連絡協議会のメンバー全員の協力を得て運営

4 実施のスケジュール

H23年 5月 学区連絡協議会で趣旨提案、承認

12月 実行委員募集、第1回実行委員会開催

H24年 1月 ウォーキングコース提示

2月 ウォーキングコース実地検証し、確認
自治会回覧(チラシ)による参加者募集

3月 運営協力員の役割提案、承認

4月 「熊の前発見ウォーク」実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

- ・まちに対する発見に驚きをもってもらえたこと、学区を知ろうとする意識が芽生えた。
- ・家族参加が多く、親子で相談したり、説明したり会話が弾んだ。

(2) 苦労した点

- ・参加人数の把握が最後までできず、運営計画面で苦労した。
- ・子どもの参加者が多く、道路への飛び出しなど交通整理の面で苦労した。

(3) 今後の課題・展望

- ・学区は広く何回でも実施でき継続性がある。今後、学区を越えて区内の探索ウォークに拡大する可能性がある。
- ・交通量が多く、安全の確保が今後の課題である。

(4) メッセージ・アドバイス

- ・自分の住む学区の伝統や歴史、地形の特性、学区の広がり等を知ることにより、地域への愛着と住民のつながりが広がる。

【至急】自治会回覧

学区春の新しいイベント

熊の前学区連絡協議会
発見ウォーク実行委員会

「熊の前 発見ウォーク」参加者募集！

わたしたちの「まち」の新しい「何か」を発見
開催は新緑の4月、スタートは熊川公園
家族、友達などのチームで参加しませんか！

● 日程：4月15日（日）
● 受付：9時30分～
● ウォーク：10時～12時
● 集合/解散場所：熊川公園
● コース：熊の町学区
（熊川公園～熊の町～熊川公園）
● 参加申し込み要：なし
● 参加費：無料
● 参加費：あり

※ 保護加入のため人数把握が必要です。
参加希望の方は事前に、チームリーダーと「カタナフ、カタナフ」と
チーム人数を書いてください。
3月9日まで自治会回覧に出してください。

自治会名： _____ 組・番名： _____

No.	チーム代表者	人数	No.	チーム代表者	人数
1	組長	5人	9		
2			10		
3			11		
4			12		
5			13		
6			14		
7			15		

